

校長室だより

平成三〇年七月二日

「みみのぶ」

身延町立身延小学校

校長 依田 智



早くも真夏日が続く日々

先週末の二九日、気象庁から「関東甲信地方が梅雨明けしたとみられる」と発表がありました。先週は、その少し前から、蒸し暑い日が続いていたので、天気情報でも梅雨明けが早まるのではないかと伝えられていました。

発表によると、平年（七月二日頃）より二二日早く、昨年（七月六日頃）より七日早い梅雨明けとなったそうです。関東甲信地方が、六月に梅雨明けするのは初めてのことだとか。これまでに関東甲信地方で最も早く梅雨が開けたのは、二〇〇一年の七月一日でした。梅雨の期間（梅雨入りした六月六日から梅雨明け前日の六月二十八日まで）の日数は二三日と、一九七八年（六月一日から七月四日まで）に並んで一番の短さだということですが。

ということですが、梅雨明けと聞いた途端、金曜日からは暑い日が続いています。昨日までの三日間とも、軽く三〇℃を超えていました。日中、湿気を伴う高温が続くと、夕方になってなかなか気温が下がりません。夜になって窓を閉め切ってしまうと、かなり寝苦しくなります。熱中症の心配も出てきます。高齢の方や小さな子どもは要注意です。扇風機やエアコンのお世話にならないでいいられません。しかし、ここで注意しなければならないのが、

扇風機・エアコンの使用法です。もちろん、暑さを和らげるための道具ですから、効果的に使う分には問題ありません。問題になるのは、「過度な依存」です。長時間にわたって気持ち良さを最優先してしまうと、体を休められるような気がしますが、意外と体力を奪われ、体調を崩してしまったり、日中の暑さに耐えることができなくなってしまうたりします。また、就寝時には気をつけていないと、喉を痛めてしまったりもします。暑い時には、暑いなりに汗をかくことも大事ということですが。

と言いつつも、これからの毎夜の寝苦しさを感じると、本当に閉口してしまいますね。さて、七月に入りました。早いもので、一学期も終盤です。あと三週間（授業日は、計四日）で、子どもたちにとってはうれしいうれしい夏休みとなります。良い夏休みを迎えられるよう、学期のまとめをしっかり行い、有意義な毎日を送れるよう、しっかり指導・支援していききたいと思います。

第二回代表委員会から

金曜日（二九日）の中休み、児童会代表委員会が行われました。内容は、「六月のめあての反省」と「七・八月のめあて」、そして、「児童意見箱」についてでした。

六月のめあて「気持ちのこもったあいさつをしよう。」は、どの学年もしっかりできてきたという評価でした。実際、とても良くできています。ただし、学校外でのあいさつについては、地域や関係機関から聞く様子では、もう一頑張りが必要のようでした。それについても、児童会本部の呼びかけで、改善されつつあります。

次に、七・八月のめあてですが、夏休みも含め、一学期の総復習やまとめをしつかりしていくということですが、「自主学習に進んで取り組もう。」というめあてになりました。子どもたちが自主的に学習に向かえるよう、御家庭でも効果的な声かけや環境づくりをしていただけると、大変ありがたいです。よろしくお願いいたします。

三つ目は、意見箱の取り組みについてです。新身延小をもっと良い学校にしていこうために、学校生活についての課題点や工夫点を挙げてもらうということですが、子どもたちの間で効果的な活用がなされるよう、児童会担当教諭を中心に指導・支援していききたいと思います。

「保育園・小学校連携の会」がありました

同じく、金曜日の午後、保小連携の取り組みとして、標題の会が開かれました。主には、新入児の卒園後の様子について、大野山保育園、下山立正保育園の関係者に来ていただき、五校時を参観し、その後意見交換をさせていただきました。



今後の教育活動の参考にさせていただきます。

（保護者の皆様へ）既に通知してありますように、明後日（四日）、「授業参観・救急法講習会・学年PTA」が予定されています。お忙しい時期ではありますが、都合をつけて御出席くださいますようお願い申し上げます。

当日は、台風の影響もあってか、降雨が予想されます。その場合も、駐車場については、基本的に校庭となります。御承知おきください。



「みみのぶ」

身延町立身延小学校

校長 依田 智



御参加ありがとうございました！

梅雨明けはしたのに、温帯低気圧となった台風七号の影響もあってか、梅雨前線が南下し、列島全体に雨をもたらし続けているようです。そんな足もとの悪い中、また、お忙しい中、多くの方々に、時間をやり繰りし、「授業参観・PTA救急法講習会・学年PTA」に御参加いただき、感謝申し上げます。大変ありがとうございました。



まず、「授業参観」はいかがだったでしょうか。各学年とも工夫を凝らし、子どもたちが一所懸命取り組んでいる様子をご覧いただけただけではないでしょうか。また、教室内の児童作品や掲示物、整頓状況なども御確認いただけただけだと思います。家庭生活

も連動させ、参考にしていただければと思います。

授業参観後は、体育館にて、保健体育部の皆さんの運営により「救急法講習会」が行われました。講師に



は、峡南消防本部中部消防署より六名の消防士・救命救急士・レスキュー隊員が見えてくださいました。まずは、救命救急士の手本で学習し、その後、グループごとに実際にやってみました。いつ何時、胸骨圧迫をしたり、AEDを使ったりすることになるか知れませんが、防災と同様、繰り返し訓練がとても大事となります。大勢の方が参加してくださり、予定時間をオーバーしながら、熱心に研修していただきました。



その後は、再び各教室に戻り、学年委員さんに進行していただき、学年PTAとなりました。学年の発達段階に応じた意見交換ができ、御家庭での一学期のまとめや夏休みの過ごし方の一助になれば幸いです。

すべての学年PTAが終わったところで、PTA執行部会を持たせていただきました。PTA活動の振り返りと今後の予定を中心に、学校からの相談も含め、一時間半近く熱心に協議していただきました。とても頼りになる存在です。

あけぼの大豆とアサガオ



上は
三年生
のあけ
ぼの大
豆の発



芽、そして、下は一年生のアサガオの開花です。どちらも、すくすく育ってほしいですね。一年生は、夏休みに入る時に家庭に持ち帰ります。

水泳の専門指導をしてもらいました

県教委の事業である「いきいき教育地域人材活用推進事業」を活用し、二、四日にかけて全学年で専門講師（スポーツクラブ・フィッツ橋本篤幸先生）による水泳指導を実施しました。

この事業の主旨は、「児童生徒の体験的な学習の充実を図り、児童生徒に生きる力を育んでいくために、幅広い知識・経験や優れた技能を持つ地域在住の専門家や社会人を、特別非常勤講師として学校に派遣する。」というものです。先月行った六年生の篆刻体験も、この事業を活用して行いました。



〈その他・諸々〉三日（火）の午後、身延町総合文化会館にて「峡南地区・異校種連携セミナー」があり、『教育の中で自発性を育む』と題して、山梨英和大准教授・佐柳信男先生の講演を聴きました。本校からは、深沢PTA会長、遠藤PTA副会長、望月教頭、依田の四名が参加しました。



上は、五年生の七夕飾りです。教室前に飾られています。他学年でも飾っています。もうそんな時季なんですね。テニスの全英OPが始まっています。錦織、大阪選手ともに三回戦に進出です！頑張ってください！

校長室だより

平成三〇年七月一〇日

「みみのぶ」

身延町立身延小学校

校長 依田 智



平成最大の豪雨災害！

皆さんも御存知の通り、先週後半から台風七号や梅雨前線の影響で、西日本の一府県を中心に広い範囲で大雨による大きな被害がありました。

被害者の数は、昨日（九日）現在、一三府県で死者が一二六人、心肺停止が二人、行方不明や連絡が取れない人が七九人となっています。生存率が著しく下がるとされる「発生から七十二時間」を今日にかけて迎える中、全国から救助隊等が派遣され、捜索や救助が続いている状況です。もちろん、山梨県からも派遣されています。

気象庁では昨日、今回の西日本豪雨の名称を「平成三〇年七月豪雨」と決め、発表しました。死者一〇〇人以上を出した豪雨災害は、一九八三年に島根県を中心に被災した「昭和五八年七月豪雨」以来で、平成に入って最悪の被害となつてしまいました。

特に、報道等で見てみると、広島、岡山、愛媛などが、とんでもない甚大な被害を被っているようです。二階天井付近まで濁流や土砂、岩石が押し寄せ、多くの家屋や道路が壊滅状態になっています。家の中で生き埋めになってしまった人や車に乗ったまま押し流されてしまった人、逃げ場がなくて濁流に呑み込まれてしまった人など、ここ

身延にいては、とても想像も及ばないの大変な状況になっていないでしょうか。

また、とても数日では処理しきれない大量の土砂や瓦礫の山で、交通網も至る所で寸断されてしまっているため、西日本を中心に鉄道やトラックなど物流への影響が大きく出ています。避難生活を余儀なくされている人たちは、着替えや食料、気温の上昇による衛生面等での心配がとて懸念される場所ですが、どこも災害ボランティアを受け入れる体制も整っていないという事です。

個人的には、今後のことを考えると、ある程度の物資は国や行政が何とかすると思われ、先々に役立つ義援金が一番の支援になるのかな、と思います。いずれにしろ、一日でも早く平穏な日常を取り戻せることを願うばかりです。

周囲の山々に押し迫られ、中央を日本三大急流と言われた富士川が流れる身延も、いつ何時、同じような災害に見舞われるかも知れません。大きな土石流や地震が発生したら、身延の地など一溜まりもないのではないのでしょうか。昨今、あらゆる場面で「危機管理」「危機意識」と言われていますが、災害にしろ人災にしろ、危機的状況の方が押し寄せてくるスピードが速すぎて、とても追いつかない気がしてしまいます。とは言え、後ろ向きにばかりになってはいられません。私たちの子どもたち、私たちの生活、私たちの地域を守り、それらを向上発展させていくためにも、私たち大人が常に『危機管理意識』や『見通し』を持って諸々の事に当たっていかなければならぬのだと思います。

今回の災害を機に、御家庭でも改めて災害に對しての意識を高めていただければと思います。ぜひお子さんとも話してみてください。

峡南衛生組合を見学しました！



昨日の午前中、四年生は社会科見学で下田原にある峡南衛生組合を訪れました。ゴミ処理についての学習のためです。滅多に見ることができない施設なので、子どもたちは興味津々、やや興奮気味だったようです。

施設の方から、丁寧な説明を受けながら、巨大なゴミ焼却場やゴミプレス機、資源ゴミ保管場などを見学し、ゴミ処理制御室でたくさん質問もできました。峡南衛生組合では、早川町、身延町、南部町、市川三郷町の四町を管轄してくれています。ゴミ処理場は、私たちの日常生活を影からしっかり支えてくれる、とても大切な存在です。ありがたいことです。



今年は一〇月一〇日（水）です！

「H三〇年度・身延町の教育を語る会」のことです。例年、町PTA連合会執行部が実行委員を務め、企画運営している会合です。今年も、目標の期日で開催されます。

先週六日（金）の夜、第一回実行委員会が開かれ、本校からも深沢PTA会長、望月教頭、遠藤加代子先生、私の四名が出席しました。今年の講演は、本町児童生徒の生活実態を踏まえた話ができる講師を予定しているとのことです。通常は、PTA役員さんを中心に出席をお願いしていますが、ぜひ多くの方の出席をお待ちしています。

『みみのぶ』

身延町立身延小学校

校長 依田 智



私の「子育て反省記」

子どもたちは、夏休みを目前にし、きつとワクワク感を募らせていると思います。夏休みまで、あと一週間余となりました。前号で話題にした西日本地域では、子どもたちも学校、夏休みどころではないかと想像します。大変な夏を迎えることになってしまいました。支えられる部分は、しつかり支えていきたいと思えます。

さて、今回は、私の「子育て反省記」を紹介し、ます。あまり参考にはならないと思いますが、ひよっとしたら少しは役に立つかも知れません。

一つ目：「一緒に時間を作る」

林修風に言くと、「子育て、いつやるの?」「今でしょ!」ということ。子育ては、今現在、身延小の保護者である、皆さんの「今」が旬です。「今」、お子さんのために時間をぜひ作ってください。私は、自分の子どもたちが大人(社会人)になってから、そのことを思い知らされました。もちろん、彼らが園児、小学生、中学生の頃から気づいてはいたつもりですが、心底「旬」だとは思っていません。思っていたのだと思います。「子どもは、親から見れば、大人になっても、いつまで経っても、子どもは子どもだ。」ぐらいにしか思っていないのかも知れません。不覚でした。

子どもたちが学齢期の頃、妻からは「たまには

子どもと一緒にいてよ。あつという間に離れていっちゃうよ。」とよく言われました。私はというと、言い訳にしかありませんが、ちょうど三〇代から四〇代にかけての仕事盛り(?)だったということもあり、平日のみならず、休日もあり家にいませんでした。とは言え、数は少ないですが、できる範囲で一緒にいる時間を作りました。

大きくなってからは、子どもたちはほとんど口にはしませんが、案外小さい頃の思い出は覚えていよう。良いことにしろ悪いことにしろ。私は、遅ればせながら、適齢期になった、いや、適齢期を過ぎようとしている我が子たちのことを思い浮かべると、「もつと一緒にいてあげれば良かったなあ。」とやるせない思いにちよつと襲われます。子どもたちは、遅くとも、中学・高校生になれば、加速度的に(今はそうでもないのでしょうか?)親御さんからどんどん離れていきます。精神的な部分で、心の絆をより太くしておくために、ぜひ一緒に時間を作ってほしいと思えます。

二つ目：「一緒にルールを考える」

例えば、休日や夏休みになると、ゲームにばかり夢中になる子がいるかも知れません。「何!何時間もやってるの!」と頭ごなしに叱ってしまう前に、「ゲームは一日一時間!」と親から一方的に決まりを押しつけてしまうのではなく、できるだけ話し合うことをお勧めします。お子さんの思いを受け止めつつ、なぜ決まりが必要なのか、親としてどういう願いがあるのかを上手に伝えていくことが肝要だと思います。

我が家の場合、この分野は大概、私の担当です。もちろん、その前に夫婦の打合せは必要です。父母双方が別々のことを言っ

せんで。そんなことをすると、子どもは大人を信用しなくなってしまう。果ては、大人になった時、上手に人間関係を調整できなくなるおそれが出てきます。「さあ、夏休みだ。ゲームはどうする?」「ネットの使い方は?」等々、約束事は話し合いで決めた方が、その実効性も高まります。お試しください。

三つ目：「一生を考え、子育て・家族優先」

今時ですので、特殊な場合を除き、家を継ぐとか、親の面倒を見てくれとかはあまりないかと思えます。我が家も、ちよつぱり残念ですが、四人の子どもたちは一人として、地元・身延にいません。しかし、人生の最後、「死期」を見守ってくれるのは、きつと「我が子・我が家族」になるのだと思います。確実に花を手向けてくれるのも、きつと「我が子・我が家族」でしょう。図々しく先輩面して言わせていただければ、同僚や先輩の誘い、仕事や自分の趣味、娯楽に、優先すべきは「子育てだ!」と心していただくと良いのではないのでしょうか。

たいして参考にもなりません、どの御家庭も家族の絆をより太くしていただければ幸いです。良い夏をお過ごしください。

〈雑感〉全英OP、錦織圭選手が活躍しました。

一昨日時点で、ベスト八に進出! 八決めの四回戦では、セットカウント〇―一から、二・三セットともタイブレークを制し、三―一の逆転勝利。松岡さん以来の快挙です。

準々決勝は、昨夜、宿敵ジヨコビッチと。結果は、惜しくも一―三で敗退。残念!





「みみのぶ」

身延町立身延小学校

校長 依田 智



猛暑が押し寄せていますっ！

梅雨が早々と明け、猛暑が続く中、西日本では豪雨後の災害処理や避難生活などに大きな支障を来すほどになっています。全国的には、一昨日、岐阜で今年度初の三九℃超えを記録し、内陸を中心に各地で三五℃以上の猛烈な暑さとなっています。そのため、一昨日だけで、熱中症での救急搬送が二〇二〇人にも上り、中部地方を中心に、新潟、愛知、静岡、三重で計五人が亡くなりました。

山梨でも、この三連休は、全国最高気温に迫るほどの高温となり、毎夜、寝苦しい熱帯夜が続いています。内陸で盆地を抱えている地形のため、中部地方の他県と同様、熱中症に罹りやすい状況下であり、県内でも、熱中症を発症する人が出ていますので、注意を払うことが必要です。特に、年寄りや子どもについては、周囲が気をつけていることが、重篤な状況を防ぐことにつながります。昨日も、上空は雲に覆われているにもかかわらず、気温は昼時点で三五℃超となっていました。気象庁によると、一七日以降も高気圧に覆われ、当分猛暑が続くとのことです。学校でもできる対策は講じていますが、御家庭でもぜひ熱中症への予防をお願いいたします。

また、このような気候の時は、突然、雷が発生したり、大雨やひょうが降ったりしやすいので、その点での御指導もお願いいたします。

県学力把握調査の結果公表

県教委では、毎年四月に、小三、小五、中二を対象に、県独自の「学力把握調査」を実施しています。小学校では、国語と算数の二教科での実施です。その調査結果が、先週二二日(木)に報道で公表されました。

今年度は、小学校で一七二校、一二七二三人が参加しました。問題は、過去の異なる年度に出題された問題を組み合わせで作成されています。県全体の結果は、県総合教育センターによると、国語で、小三が過去の平均正答率を二・九％上回る七八・四％、小五が二・九％上回る六・九％でした。算数では、小三が七・九％上回る七五・〇％、小五が〇・一％上回る七三・〇％でした。

本校の様子は、今後、校内で詳しい分析と対策を検討した後に、御家庭に結果をお渡しすることになります。時期は、二学期後半を予定しています。現時点では、両学年とも概ね良好であるということはお伝えできます。

なお、これまで県教委は学力定着の目安を「平均正答率七〇％」としてきましたが、調査開始から七年が経過しデータが蓄積されたということで、今回から過去の平均正答率を定着度を測る目安に設定したということです。

ハートの一週間

一日(水)は、朝活動で二回目の「読み聞かせ」がありました。ボランティアの方たちが、毎回、違う学級で行ってくれるので、そのような新鮮みも加わり、どの学級も集中して、楽しく聞くことができています。(写真は右下の上)



教室を回っていたら、六年生の教室に下の呼びかけが貼ってありました。「いじめ防止」への取り組みです。各学年とも、発達段階に応じて様々な角度から声かけや指導を行っています。



一二日(木)には、五年生が調理実習でサラダ作りに挑戦していました。美味しいサラダができ、給食前に試食をしてしまったため、給食を食べるのが大変だったようです。

一三日(金)、朝活動のたてわり清掃で、校庭の草取りをしました。事前に望月教頭先生がトラクターで草を削り取ってくれてあったので、取りやすかったです。大人数で取りかかると、短時間で作業することができそうです。



その日の午前中、下山小にて「町内小中学校連携協議会」がありました。四校の管理職で情報交換、意見交換を行いました。とても有益でした。午後には、なかとみ現代工芸美術館にて、「木喰展」のオープニングセレモニーがあり、学校代表として出席しました。TV報道でも取り上げられています。ぜひ御家庭でも出かけてみてください。夜には、中富総合会館にて、身延町「夏の青少年生活指導者会議」が行われ、望月教頭先生と生徒指導主任の竹内先生が出席しました。

「みみのぶ」



身延町立身延小学校

校長 依田 智



身近なかわりを大切に：

学校では、毎日、様々な場面で子どもたちがその子なりの頑張りや活躍を見せてくれています。すてきな姿に出会ったとき、先生方は「ありがとう」「うれしいなあ」「すごいね」「助かるよ」などと声をかけることはもちろん、もう一つ大切にしていることがあります。

それは、「毎日、水をあげているね」「困っている人に声をかけているね」「友だちの頑張りを知らせてくれているね」「いつも大きな声で元氣よくあいさつしているね」「発表している人の方を向いて聞いているね」「いつも最後まできちんと掃除しているね」：と、子どもたちの何気ない日常の姿に声をかけるよう、心がけてもらっています。気がつく限り、見ているままと伝えるように：と。

そこには、「いつも見ているよ」というかわりのメッセージが含まれます。成果に関わらず、見えている事実を肯定的に見て心に留め、伝える（＝認める）ことで、子どもたちの安心感や自信につながるのではないかと考えます。もちろん、人としてはいけないこと、あるいは、自分の努力を無にしてしまうような行為（それがどんなに小さなものであっても）に対しては、きちんと指導や声かけをします：

同じような場面は、家庭の中にもたくさんあると思います。食器の上げ下げやお風呂洗いといっ

たことなどです。家庭で習慣として取り組んでいる姿には、ありがたさと同時に、「しっかりしてきたなあ」という頼もしさも感じられるのではないのでしょうか。そんな時、「ありがとう」という言葉とともに、「いつもやってくれるね」「いつも見ているよ」というメッセージを添えていただきたいと思います。子どもたちはこのような言葉やかかわりを通して、学校の仲間や家族に認められていることを実感し、安心感を深め、コミュニケーションを増やしていくことができます。「みんなの役に立っている」「自分分は家族の一員なんだ」という確かな実感を得ていきます。

家庭や学校を問わず、子育ての目標は、その子に応じた自立を実現することにあります。しかし、近年、若者の自立がかなり遅れてきていると言われます。その背景には、大人が不必要に干渉し過ぎたり、かかわり過ぎたりするせいや、子どもに自己責任の考え方が身につけていないことが挙げられます。家事の一部を任せる（任せるというのは、「やらせる」とは別です。）ことは、子どもたちに責任感や自立心を育みまがら、認められているという安心感に支えられながら、「自分が必要とされている」「役立っている」という実感を得つつ、自分への自信を深めることができます。

今、子育てが難しい時代とよく言われます。その背景が、社会現象にあるとか、少子化にあるとか指摘されていますが、七・一二号でも話題にしましたように、案外私たちの手元や身近なところに、子どもたちとの大事なかわりの鍵があるのではないのでしょうか。子どもたちが家庭の一員として何ができるか、ぜひ夏休みに入る今、家族で話し合ってみてほしいと思います。

明日（二一日）から八月二十六日まで、実質三七日間の夏休みとなります。開校から今日までの一学期間（授業日数は七三日でした）、様々な面で新身延小を支えていただき、本当にありがとうございました。今後も、尚一層の御支援・御協力をお願いいたします。

夏休み中は、子どもたちが家庭や地域で過ごすことが多くなります。安心・安全な中で、元氣な夏を過ごせるよう、十分な御配慮をお願いいたします。一八日（水）の二校時には、南部警察署による「防犯教室」を開催し、不審者からの声かけ事案への対応（低・中学年）やサイバー犯罪への予防（高学年）などの学習を行いました。



なお、夏休みは長期にわたりますので、何かお話や相談がある場合は、遠慮せず担任・学校まで御連絡ください。休み明けの二期始業式（八月二十七日）には、大きく成長した子どもたちの笑顔に会えることを楽しみにしております。

（お知らせ）本校では、明日から八月下旬にかけて、校舎改修工事が行われます。普通教室、図書館、理科室、職員室、校長室の改修となります。

そのため、夏休み中、図書館での貸出はできません。校舎への立入も、工事関係者と職員に限られます。また、工事期間中の仮設職員室（校長室も）は、食堂（一階東側）となります。大変御迷惑をおかけしますが、御承知おきください。

八月二十五日（土）には、PTA親子環境整備作業が予定されています。分担表も、今日配布されたいと思います。何とぞよろしく願います。